

生活の場における終末期ケアの現状と課題

孔, 英珠

<https://hdl.handle.net/2324/4110428>

出版情報 : Kyushu University, 2020, 博士 (人間環境学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	孔英珠			
論文名	生活の場における終末期ケアの現状と課題			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	高野和良
	副査	九州大学	教授	安立清史
	副査	九州大学	准教授	山下亜紀子
	副査	九州大学	教授	三隅一人(他専攻)

論文審査の結果の要旨

本論文では、医療の場ではなく、自宅や介護施設における終末期ケアの現状と課題が明らかにされる。日本では、高齢社会の成熟化とともに死亡者数が急増し、政策的に地域包括ケア体制の構築が進められているが、生活の場で最期を迎える際に必要となる生活支援、情緒的支援、長期的介護の主体をどこに求めるか、またそれらの主体間の関係のあり方は、十分に検討されてはいなかった。本論文の特徴は、孤立死防止のための地域住民による諸活動、在宅ホスピスボランティア活動、介護職員による看取り介護の実態分析を通して、終末期ケアの各主体が直面している困難や課題とともに、複数の主体間の関係などが実証的に検証される点にある。

本論文は、医療化される死ではない死の諸相を取り上げ、現状の看取り体制の課題と展望を示している。継続的なフィールドワークの蓄積と、それに基づいた分析によって終末期ケアをめぐる研究に新たな知見を与えており、社会的意義も評価できると思われる。

よって、本論文は博士（人間環境学）の学位に値するものと認める。